

第3回 四大学連合文化講演会

環境・社会・人間における「安全・安心」を探る

— 安全で安心のできる社会 —

～ 学術研究の最前線をやさしく解説する ～

日時：2008年11月27日(木)
13:00～16:20

場所：一橋記念講堂
(東京都千代田区神田一ツ橋2-1-2)

主催：四大学連合(東京外国語大学、東京工業大学、
一橋大学、東京医科歯科大学)

共催：日本経済新聞社

企画：四大学連合附置研究所

東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所

東京工業大学 資源化学研究所

精密工学研究所

応用セラミックス研究所

原子炉工学研究所

一橋大学 経済研究所

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

難治疾患研究所

後援：東京外語会、葎前工業会、如水会、お茶の水会

定員：500名(入場無料)

お申込・お問合せ先：

東京医科歯科大学難治疾患研究所事務部庶務掛

〒101-0062

千代田区神田駿河台2-3-1

TEL: 03-5280-8052 FAX: 03-5280-8081

E-mail: mri.adm@cmn.tmd.ac.jp

プログラム

- 12:20 開場
- 13:00 - 13:10 開会の辞 東京医科歯科大学 学長(予定)
- 13:10 - 13:15 来賓ご挨拶 文部科学省研究振興局長(予定)
- 13:15 - 13:55 「車の排ガスのその場高感度分析」
東京工業大学資源化学研究所教授・藤井正明
- 13:55 - 14:35 「労働市場の安全網(セイフティネット)」
一橋大学経済研究所准教授・神林 龍
- 14:35 - 14:50 休憩
- 14:50 - 15:30 「人類学からみた安全と安心」
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所長
大塚和夫
- 15:30 - 16:10 「ゲノムの変化から知るがんの個性と治療法」
東京医科歯科大学難治疾患研究所教授
稲澤譲治
- 16:10 - 16:20 閉会の辞 東京工業大学 学長(予定)

参加申込

参加ご希望の方は、インターネットまたは葉書・FAXにて郵便番号・住所・氏名・年齢・所属先等を明記し、2008年11月13日(木)必着で、上記宛先までお申込ください。

講演者紹介



藤井 正明
ふじい まさあき

1959年生まれ。東北大学大学院中退。理学博士。国立分子科学研究所教授・分子制御レーザー開発研究センター長を経て、現在東京工業大学資源科学研究所教授。専門はレーザー分光とその応用。分子クラスターの構造と反応、レーザー分光に基づく超解像顕微鏡と高感度リアルタイムレーザー分析法を研究。2004年よりJST先端計測分析技術・機器開発プロジェクト「単一微粒子の履歴解析装置」リーダー、2007年から文部科学省特定領域研究「高次系分子科学」の領域代表。日本化学学会進歩賞。市村学術賞貢献賞、手島記念研究論文賞。 URL: <http://www.res.titech.ac.jp/~kiso/indexj.html>



神林 龍
かんばんやし りょう

1972年生まれ。2000年東京大学大学院博士課程修了、博士(経済学)。東京都立大学経済学部助教授などを経て、現在、一橋大学経済研究所准教授。専門は、労働経済学。労働法の経済的影響に関する研究のほか、ハローワークの歴史や機能の評価、賃金格差の動向などの研究に従事。

URL : <http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/kambayashi.html>



大塚 和夫
おおつか かずお

1949年生まれ。東京都立大学大学院博士課程修了。博士(社会人類学)。現在、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所所長。専門は社会人類学、中東民族誌学。1970年代末よりエジプト、スーダンなどアラブ・ムスリム世界の人類学調査に従事。主な研究テーマ:近代イスラームの歴史人類学、人類学的「民族」研究。著書等:『イスラーム主義とは何か』(著書 岩波新書、2004年)、『近代・イスラームの人類学』(著書 東京大学出版会、2000)等

URL: <http://homepage2.nifty.com/kazuoweb/index.html>



稲澤 譲治
いなざわ じょうじ

1956年生まれ。京都府立医科大学医学部卒業。医学博士。東京大学助教授を経て、1998年より東京医科歯科大学難治疾患研究所教授。専門は遺伝医学、ゲノム医学、分子細胞遺伝学。現在の研究の研究テーマは、癌と遺伝疾患の病態解明。日本血液学会奨励賞。京都府立医科大学学友会青蓮賞。高松宮妃癌研究基金研究助成金。(財)ノバルティス科学振興財団研究奨励金受領。

URL: <http://www.tmd.ac.jp/mri/cgen/framepage.htm>

東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学・東京医科歯科大学は、2001年3月に四大学連合憲章を結び、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立すべく、たゆまぬ努力を続けてまいりました。その努力の一環として世界最先端の研究を強力に推進してきております。そして、この7年間に世界第1級の研究成果を数多く上げてまいりました。第3回目の今回も、学術研究の最前線をわかりやすく解説します。

講演要旨

1. 「車の排ガスのその場高感度分析」 東京工業大学資源化学研究所教授・藤井正明

レーザー光を分子に照射すると分子は複数の光子を同時に吸収してイオン化する。この多光子イオン化には共鳴効果があり、種々の物質が混在した環境試料に対しても、レーザーの波長を注目する分子の色に一致させるだけで特定の分子種だけがイオン化して高感度で分析できる。つまり分離・抽出といった化学分析操作が一切不要で微量物質のリアルタイム分析が実現できる。講演では燃焼炉や自動車を中心とする燃焼ガス中の有害有機分子の高感度リアルタイム分析について述べる。

2. 「労働市場の安全網(セイフティネット)」 一橋大学経済研究所准教授・神林 龍

人々の社会活動のなかで、労働生活は少なからずの比重を占めている。その一方で、労働生活は様々な危険と隣り合わせであることも事実である。仕事のためにケガをしたり病気に罹ってしまうこともあるだけではなく、仕事自体を失う危険も無視できない。私たちの社会は、こういった危険をあらかじめ回避するために様々な装置を考え出してきた。労災保険や失業保険といった制度は有名だが、それ以外にも職業訓練を通じて転職の可能性を高めたり、賃金水準を一定に維持したり、様々な政策技術が考案されてきた。その制度が、今岐路を迎えている。ここでは、そういった労働市場がもつ安全網について考えたい。

3. 「人類学からみた安全と安心」 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所長 大塚和夫

文化人類学の視点から、世界の諸民族のさまざまな生活様式や価値観の検討を通して、日本で考えられているものとは多少異なった安全観・安心観をもつ人々の生き方を紹介し、人類のもつ文化の多様性の一端を明らかにしたい。

4. 「ゲノムの変化から知るがんの個性と治療法」 東京医科歯科大学難治疾患研究所教授 稲澤誠治

がん細胞のゲノム異常は複雑で多彩である。このため同じ臓器のがんであっても浸潤や転移、治療抵抗などの性質に違いがある。がん細胞のゲノム異常を詳細に調べることはがんの個性を理解することであり、最適の治療法を選ぶうえでも重要な情報となる。

会場案内

一橋記念講堂：学術総合センター内。
(如水会館の隣の建物)

半蔵門線・三田線・新宿線「神保町駅」A8出口徒歩3分
東西線「竹橋駅」1B出口徒歩4分



FAX用参加申込書

(送付先：03-5280-8081)

第3回 四大学連合文化講演会参加申込書

お名前 年齢(歳)

所属先

役職

ご住所 〒

電話番号

FAX

E-mail

お申込のきっかけ(番号に を付けてください)

講演会ホームページを見て

日本経済新聞の記事・広告

ポスターを見て

大学等からの案内(大学名等:)

その他()